

平成30年度事業報告書

社会福祉法人田子町社会福祉協議会

平成30年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、非正規雇用の増加など、生活そのものが変化したことにより複合的な課題が顕在化し、既存の社会の形では対応が困難になってきています。

国では「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められており、本年 4 月から施行された改正社会福祉法では地域福祉推進の理念が規定され、10 月には地域包括ケアシステム推進の視点で介護報酬の改定が行われました。

本会においては、昨年度策定した第 3 次田子町地域福祉活動計画により福祉課題の解決に向けた方向性を示し、今年度に見直しされた田子町地域福祉計画と整合性を図りながら、地域の特性に応じた仕組み作りに努めました。

また、介護保険事業をはじめとする福祉サービスにおいても個人の尊厳や自立を基本とし、利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めるとともに、役職員の資質向上と事務事業の見直しを進めながら経営の健全化と地域福祉活動の活性化に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1) 理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、正副会長会議、管理者会議、幹部会議を開いて介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 3 回>

○第 1 回理事会

日 時	平成 30 年 6 月 8 日(木) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第 1 号 会長の職務執行状況について 議案第 1 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会定款の一部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について 議案第 3 号 平成 30 年度一般会計補正予算(第 1 号)について (監査報告) 議案第 4 号 平成 29 年度事業報告書の承認について 議案第 5 号 平成 29 年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第 6 号 第 3 次田子町地域福祉活動計画の承認について 議案第 7 号 理事選任の提案について 議案第 8 号 平成 30 年度定時評議員会の招集について

○第2回理事会

日 時	平成30年11月29日(木) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 会長の職務執行状況について 報告第3号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第9号 平成30年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第10号 評議員会の招集について

○第3回理事会

日 時	平成31年3月8日(金) 午後3時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第4号 会長の職務執行状況について 報告第5号 自己評価について 議案第11号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会給与規程の一部改正について 議案第12号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員給与規程の一部改正について 議案第13号 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第14号 平成31年度事業計画について 議案第15号 平成31年度一般会計予算について 議案第16号 事務局長の任命について 議案第17号 評議員会の開催について

<評議員会の開催3回>

○定時評議員会

日 時	平成30年6月26日(火) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第1号 定款の一部改正について 議案第2号 平成30年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第3号 平成29年度事業報告書の承認について 議案第4号 平成29年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第5号 第3次田子町地域福祉活動計画の承認について 議案第6号 理事の選任について

○第2回評議員会

日 時	平成30年12月13日(木) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第1号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第7号 平成30年度一般会計補正予算(第2号)について

○第3回評議員会

日 時	平成31年3月18日(金) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 自己評価について 議案第8号 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第9号 平成31年度事業計画について 議案第10号 平成31年度一般会計予算について

<監査会の開催 2回>

○第1回監査会

日 時	平成30年5月25日(金) 午後1時
場 所	せせらぎの郷 会長室
内 容	平成29年度法人運営並びに事業実施状況について 平成29年度会計処理状況について

○第2回監査会

日 時	平成30年11月26日(月) 午後1時
場 所	せせらぎの郷 会長室
内 容	平成30年度上半期(4月~9月)会計処理状況について

<苦情処理委員会 1回>

日 時	平成30年9月27日(木) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	苦情解決のしくみ 青森県内の苦情内容について 平成29~30年度の状況報告について

<正副会長会議>

12回(4/26、5/28、7/3、7/31、8/30、9/27、10/31、11/27、12/27、1/31、2/28、3/28)

人事・事業運営並びに経営状況等について定例的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

<管理者会議>

12回(4/19、5/18、6/20、7/18、8/20、9/19、10/19、11/14、12/21、1/21、2/22、3/20)

各部署管理者(事務局長、事務局次長、所長)において、介護保険事業の経営状況並びに各部署の運営状況についての情報の共有化を図り、課題の分析・対応について協議し経営の健全化に努めました。

<幹部会議>

12回(4/25、5/25、6/26、7/26、8/27、9/26、10/25、11/26、12/26、1/25、2/25、3/25)

幹部職員(事務局長、事務局次長、所長、主任等)において、介護保険事業の実施状況や経営状況並びに社協の事業についての情報の共有化を図り課題の改善策等について協議しながら経営の健全化に努めました。

(2) 社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額 2,716,000 円(介護・障害サービス収入を除く収入の 3.6%)の実績をあげることができました。

＜社協会費納入内訳＞

会員区分		会費年額	会員数	会費額
世帯会員	普通会員	1,000 円	1,393 人 (-23 人)	1,393,000 円 (-23,000 円)
	賛助会員	2,000 円	439 人 (-8 人)	878,000 円 (-18,000 円)
	小計 ①			1,832 人 (-31 人)
団体賛助会員②		1 口 5,000 円	34 事業所 89 口	445,000 円 (-15,000 円)
合計 ①+②				2,716,000 円 (-54,000 円)

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町をはじめ青森県社会福祉協議会から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

田子町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は 60,621,320 円(総収入の 37.4%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の 79.2%となっています。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として 1,000,000 円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

＜共同募金配分金による事業＞

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	300,000 円	大会運営費
社協だよりの発行	245,000 円	2,200 部×4 回
福祉協力校活動費	250,000 円	町内 5 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
障害者福祉事業	130,000 円	ほっとできる居場所づくり事業
合 計	1,000,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。

また、第 52 回田子町社会福祉大会においてチャリティーバザーを開催し、社協関係者並びに町民各位の協力により 126,990 円の売上がありました。

- ・寄付金 11 件 261,839 円
- ・チャリティーバザー 1 件 126,990 円
- ・寄付物品 3 件 (マットレス、シルバーカー、ポータブルトイレ等)

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、介護支援専門員の資質の向上を図りながら利用者の自立支援に努めました。

介護支援専門員については、年度当初は兼任管理者1名と常勤専任2名の配置をしていましたが、4月途中に常勤専任1名を新規採用し、以後4名体制で行ってきました。

利用件数は、計画作成延べ件数が1,193件(月平均99.5件)、新規契約件数が29件(月平均2.5件)で、独居生活利用者が介護保険を申請するケースが増加傾向にあったことから、前年度より新規契約件数は9件増加しました。

しかし、支援する家族や親戚等が遠方で生活しているため、当事業所と利用契約しても家族等の支援が日常的に困難との理由ですぐに施設入所となるケースや、退院に向けて医療機関との調整を行うも、施設入所のみでの支援となり計画作成に至らないケース(無報酬)も多くあり、そのため収入は前年度より約30万円の減収となりました。

年度後半には町担当課に対し、在宅生活に繋がる計画作成の見込みのある新規利用者を紹介してもらうよう要望し、今後に向けた対策を取りました。

<居宅介護支援事業実施状況>

新規契約件数	29件 (+9件)
計画作成延べ件数	1,193件 (-61件)
1月当たりの計画作成件数	99.4件 (-5.1件)
住宅改修支援件数	1件 (-1件)
福祉用具購入等支援件数	5件 (±0件)

※()内は前年度対比

<月別居宅介護計画作成件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	100	102	105	102	100	100	
	(-19)	(-9)	(-2)	(-6)	(-5)	(-4)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	101	105	99	93	90	96	1,193
	(-7)	(+6)	(+1)	(-4)	(-4)	(-8)	(-61)

※()内は前年度対比

<月別介護支援専門員数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	4	4	4	4	4	4	
	(±0)	(±0)	(±0)	(+1)	(+1)	(+1)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	4	4	4	4	4	48
	(+1)	(+2)	(+1)	(+1)	(+1)	(+1)	(+10)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員 1 人当たりの担当件数＞

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	45.5	46.4	32.9	31.9	31.3	31.3
	(+15.7)	(+18.6)	(+6.1)	(-4.1)	(-3.7)	(-3.4)
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	31.6	32.9	31.0	29.1	28.3	30.0
	(-4.4)	(-16.6)	(-1.7)	(-3.2)	(-3.0)	(-4.7)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

ケアマネジャーを中心とする関係機関等と連携しながら、特に重度の利用者を抱える家族介護の負担軽減にも配慮し、利用者ができる限り在宅で安心して生活が継続できるようにサービスの提供に努めました。

今年度は、新規・再開利用者は 22 名ありましたが、長期の利用にはならないケースが多かった為に回数も増加することができず、昨年度と比較し、1,139,500 円の減収となりました。

その要因として、重度利用者が冬期間のショートステイ利用を延長したり、利用回数の多かった利用者が入院したことで機能低下に繋がり施設入所になる等して、訪問介護サービスの利用が短期間となる傾向があることが挙げられます。

サービス別では、「身体介護」「身体生活」「生活援助」の利用回数全てが減収するという厳しい状況となりました。障害者においては、利用者は 1 名増え 6 名になりましたが、30,590 円の減収となりました。

＜訪問介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計	
利用登録者	39 人 (-9 人)	5 人 (+1 人)	7 人 (+1 人)	51 人 (-6 人)	
実利用者数	39 人 (+2 人)	5 人 (±0 人)	7 人 (+2 人)	51 人 (+4 人)	
新規・再開利用者数	16 人 (-3 人)	2 人 (-1 人)	2 人 (+2 人)	20 人 (-2 人)	
延訪問回数	2,897 回 (+169 回)	122 回 (+4 回)	340 回 (-18 回)	3,359 回 (+155 回)	
サービス別訪問回数	身体介護	1,820 回 (+222 回)	-	-	1,820 回 (+222 回)
	身体生活援助	803 回 (+215 回)	-	-	803 回 (+215 回)
	生活援助	274 回 (-268 回)	122 回 (+4 回)	340 回 (-18 回)	736 回 (-282 回)
延活動時間数	2,088 時間 (+60 時間)	112 時間 (+4 時間)	338 時間 (-33 時間)	2,538 時間 (+31 時間)	

※()内は前年度対比

＜訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	23	22	24	24	25	24	25	25	28	27	27	31	39
	4	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	5
延訪問回数	187	259	248	270	205	197	224	213	248	259	267	320	2,897
	14	9	9	8	10	8	6	8	11	12	12	15	122
身体介護	119	170	166	212	154	130	148	110	136	139	150	186	1,820
身体生活	22	45	41	37	34	44	54	83	94	108	112	129	803
生活援助	46	44	41	21	17	23	22	20	18	12	5	5	274
	14	9	9	8	10	8	6	8	11	12	12	15	122
延活動時間	133	175	169	179	142	144	169	173	191	200	197	217	2,089
	13	8	8	7	9	7	6	7	10	11	11	14	111

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

＜居宅介護サービス月別実施状況(障害)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	6	5	6	6	7
訪問回数(身体)	23	21	21	24	21	22	22	21	17	8	10	14	224
訪問回数(精神)	8	10	8	9	7	8	10	8	10	14	11	11	114

※実利用者数の計は年間の実利用者数

＜訪問介護事業月別キャンセル状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	10	4	4	10	8	1	8	4	7	8	8	6	78
居宅介護(障害)	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	5
計	10	4	4	11	9	1	8	4	9	8	8	7	83

単位:回

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
サービス提供責任者	0人	1人	0人	1人	介護福祉士
訪問介護員	0人	2人	0人	2人	介護福祉士 1人 ヘルパー2級 1人
合計	1人	3人	0人	4人	

※H31.3.31 現在

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

利用者の心身機能の維持向上を図り、社会参加を促進し日常生活が活性化するように利用者個々の状態と家族の介護負担の軽減に配慮しながらサービスの提供に努めました。

今年度は、介護保険の年間実利用者の増減はありませんでしたが、複数回利用されている利用者の重度化による介護負担軽減からショートステイ利用期間の延長や施設入所、また、利用者の体調不良などによる入院や死亡、キャンセルもあり、延べ利用回数も前年度より303回減となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より2.5%減の49.3%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より1人減の19.7人となりました。

生活介護サービス(障害者自立支援)は、1名の利用者が12月半ばより介護サービスへ移行になりましたが、2月から新規で1名が利用開始されています。

<通所介護事業実施状況>

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	90人 (±0人)	5人 (-2人)	2人 (+1人)	93人 (-3人)
延利用件数	5,807回 (-403回)	261回 (+115回)	89回 (-15回)	6,157回 (-303回)
1日当たりの平均利用者数	18.6人 (-1.3人)	0.8人 (+0.3人)	0.3人 (±0人)	19.7人 (-1人)
稼働日数				312日 (±0日)
年間稼働率				49.3% (-2.5%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

<通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	66	68	67	66	63	64	62	69	64	61	60	63	93
延利用件数	484	550	540	529	487	469	492	542	524	471	484	496	6,068
延食事提供数	471	545	526	514	476	455	479	526	514	463	478	491	5,938
延入浴介助件数	454	518	506	496	455	446	457	499	496	433	445	463	5,668
稼働日数	25	27	26	27	27	25	27	26	26	26	24	26	312
平均利用者数/日	19.4	21.4	20.8	19.6	18.0	18.8	18.2	20.9	20.2	18.1	20.2	19.1	19.5
稼働率(%)	48.5	53.5	52.0	49.0	45.0	47.0	45.5	52.3	50.5	45.3	50.5	47.8	48.8

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

<通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2
延利用件数	9	9	8	9	9	8	9	9	4	0	6	9	89
延食事提供数	9	9	8	9	9	8	9	9	4	0	6	9	89
延入浴介助件数	9	9	8	9	9	8	9	9	4	0	6	9	89

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2
延利用件数	18	18	16	18	18	16	18	18	8	0	12	18	178
稼働日数	9	9	8	9	9	8	9	9	4	0	6	9	89

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	社会福祉主事 初任者研修 相談員兼務
生活相談員	1人	1人	0人	2人	介護福祉士 2人 介護職員兼務
看護職員 <small>(うち1人育休)</small>	3人	0人	1人	4人 <small>(うち1人育休)</small>	機能訓練指導員兼務 介護職員兼務 看護師 3人 准看護師 1人
介護職員 <small>(うち1人育休)</small>	1人	5人	2人	8人 <small>(うち1人育休)</small>	介護福祉士 3人 初任者研修 3人 ヘルパー2級 1人
調理員	0人	1人	3人 <small>(うち1人育休)</small>	4人 <small>(うち1人育休)</small>	調理師 2人 配食サービス兼務
計	6人 <small>(うち1人育休)</small>	7人 <small>(うち1人育休)</small>	6人 <small>(うち1人育休)</small>	19人 <small>(うち3人育休)</small>	

※H31.3.31 現在

(2) 在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

実利用者数及び延利用者件数は共に減少しましたが、長距離送迎の利用が増えたことにより、利用料収入は約 26 万円の増額となっています。

＜福祉有償運送事業実施状況＞

登録者数	90人 (-28人)
実利用者数	72人 (-11人)
稼働日数	228日 (-3日)
延利用件数	1,076件 (-33件)

※()内は前年度対比

＜福祉有償運送事業月別実施状況＞

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	20	21	21	21	22	18	19	20	17	17	18	14	228
実利用者数	37	31	34	31	35	34	33	31	28	22	25	20	72
延利用件数	105	98	119	113	126	96	92	87	72	59	65	44	1,076
町内	54	45	65	58	63	53	57	63	46	36	48	27	615
三戸・南部	40	33	44	42	51	31	24	7	13	9	11	6	311
八戸市	2	2	4	2	6	4	5	8	7	4	2	4	50
その他	9	18	6	11	6	8	6	9	6	10	4	7	100

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度の新規登録者は 20 名、利用休止者は 13 名あり、登録者数が休止者数を上回りました。

しかし、新規登録をしても数回程度の試用で利用を辞め、一方で週に複数回利用されていた方が入院等により利用を休止するケースが多く、結果として前年度より約 540 食の食数減となりました。

＜配食サービス事業実施状況＞

登録者数	44 人 (+4 人)
稼働日数	309 日 (-1 日)
延べ食数	3,975 食 (-538 食)
1 日当たりの平均食数	12.9 食 (-1.7 食)

※()内は前年度対比

＜配食サービス月別実施状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	26	24	24	26	309
実利用者数	25	24	24	24	26	23	26	24	24	24	26	28	298
延食数	327	343	334	324	335	282	346	333	341	309	341	360	3,975
平均食数/日	13.1	12.7	12.8	12.5	12.4	11.3	12.8	12.8	13.1	12.9	14.2	13.8	12.9

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数～日、実利用者数～人、食数～食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

＜福祉機器貸出状況＞

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	10 台(±0)	3 台(±0)	12 台(±0)	2 台(±0)	1 台(±0)
新規貸出数	8 台(+5)	0 台(-1)	0 台(±0)	0 台(±0)	0 台(±0)
返却数	8 台(+4)	0 台(±0)	1 台(-1)	0 台(±0)	0 台(±0)
貸出中の台数	5 台(+1)	2 台(±0)	9 台(-1)	2 台(±0)	1 台(±0)

※H31.3.31 現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ 21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づくりを進め、町の「田子町地域見守りネットワーク事業」と連携しながら、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努めました。

また、保健師等の協力を得て健康づくりや介護予防の観点も取り入れて、地域と単身の高齢者等の交流や生きがいづくり、仲間づくりと合わせて見守り活動につながるサロン活動の推進とサロンを運営するボランティア(リーダー)の掘り起こしにも努めました。また、「田子町地域介護予防活動支援事業」により、町から各サロンへの助成金が昨年度に引き続き支給されたことで、各地域におけるサロン活動も継続して開催されるようになりました。

今年度は新たに 1 地区でサロンが実施され、全体の延べ参加者数も飛躍的に増えるなど、地域ごとのサロン活動や見守り活動への理解が広がりを見せています。

また、各自治会の協力のもと、全地区にほのぼの協力員を配置して個別の日常的な見守りの体制が整備されましたが、この体制が十分機能するよう、今後は各地域の要支援者の実態把握と合わせて、地区ごとのほのぼの協力員体制の点検と具体的な活動の見直しを行い、田子町地域見守りネットワークと連携した見守り体制の再構築を進めることが課題となっています。

<ほのぼの交流事業活動状況>

協力員グループ数	62 グループ (+7 グループ)
協力員総数	144 人 (+11 人)
対象世帯総数	161 世帯 (+22 世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	21 地区延 21 回 (-1 地区 延-3 回)
ふれあい交流会	1 地区 1 回 (+1 地区 延+1 回)
ふれあいいきいきサロン登録数	30 グループ (+1 グループ)
ふれあいいきいきサロン	22 地区延 90 回 (-2 地区 延-9 回)
ふれあいいきいきサロン参加者数	延 1,560 人 (+485 人)
交流協力員研修会	2 回延 50 人 (-30 人)

※()内は前年度対比

＜ふれあいいいきサロン開催状況＞

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(人)
下田子シルバーサロン	下田子	1	21
向山女子会	向山	5	67
ほのぼの七日市サロン	七日市	3	121
野月ふれあいサロン	野月	3	48
池振ふれあいサロン	池振	2	54
にしたてのふれあいサロン	西館野	2	31
宮野ふれあいサロン	宮野	4	80
細野ふれあいサロン	細野	10	162
明土平ふれあいサロン※	明土平	2	23
根渡ふれあいサロン	根渡	1	13
本町笑いの会	北側・南側	2	36
下本町ふれあいサロン	下本町	4	61
サンモールぽかぽかサロン	サンモール	1	20
雀ヶ平ふれあいサロン	雀ヶ平	6	56
のもてふれあいサロン	野面・極ノ実	11	80
飯豊サロン	飯豊	2	24
原スマイルサロン	原	2	39
石亀地区サロン	石亀	12	304
嘉沢にこにこ会	嘉沢	4	59
関ふれあいサロン	関	10	217
遠瀬いきいきサロン	遠瀬	2	23
新田ふれあいサロン	新田	1	21
計	22 地区	90 回	1,560 人

※は新規

(2)心配ごと相談事業

民生委員4人を相談員として委嘱し、毎月第3火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に向いて相談を受けることもできる体制をとり、ケーブルテレビや社協だより、ホームページを活用して事業のPRの強化を図りました。

また、定期の相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間3回設けたほか、日常の相談については随時事務局で対応しました。

＜相談事業実績状況＞

年間開設日数	15日(±0日) ※専門相談日3日を含む
相談実日数	49日(+16日)
延相談利用者数	47人(+14人)
実相談内容件数	47件(+27件 ※再来21件)
延面接所要時間	1,180分(-120分)
1件あたりの所要時間	25分(-14分)

※()内は前年度対比

＜相談内容別処理状況＞

相談内容	件数	解決	再来	他機関	その他	支援中/ 未解決
生計に関すること	10	1	7	1	0	8
離婚に関すること	1	0	0	1	0	0
人権・法律に関すること	4	0	2	4	0	0
財産に関すること	6	2	4	4	0	0
障害者(児)福祉に関すること	1	1	0	0	0	0
老人福祉に関すること	8	4	0	0	0	4
苦情	1	1	2	0	0	0
その他	16	11	6	2	0	3
合 計	47	20	21	12	0	15

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

＜専門相談実施状況＞

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
平成 30 年 6 月 6 日	八戸シティ法律事務所 三上大介弁護士	2 人
平成 30 年 10 月 3 日	法テラス八戸法律事務所 植田高史弁護士	1 人
平成 31 年 2 月 7 日	立花法律事務所 立花康雄弁護士	4 人

＜心配ごと相談員並びに運営委員合同会議＞

日 時	平成 31 年 3 月 13 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	平成 30 年度心配ごと相談状況報告について 平成 31 年度心配ごと相談所運営について

(3)福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得るよう努めました。

また、町からの補助により新規利用希望者に備え安心電話を 3 台購入したほか、ほのぼの協力員との合同研修会並びに利用者及び協力員の交流会を実施し、事業についての理解を深めました。

＜福祉安心電話設置状況＞

新規入会件数	8 件 (+3 件)
退会件数	4 件 (-3 件)
設置世帯件総数	31 件 (+4 台)
協力員数	94 人 (+10 人)

※()内は前年度対比

<相談・緊急通報状況>

緊急	0件 (-2件)
相談	0件 (-1件)
連絡(お元気コール)	78件 (+5件)
誤報	1件 (-1件)
その他(機器試験)	8件 (±0件)
計	87件 (+1件)

※()内は前年度対比

<福祉安心電話利用者・協力員交流会及び研修会>

日時	平成30年11月30日(金) 午前9時30分～午後4時
場所	八戸市 八戸シーガルビューホテルでの交流会
内容	社協事業説明(福祉安心電話、ほのぼのコミュニティ21推進事業等)と情報交換会

(4)会食交流事業(寄りあいっこ)

65才以上の高齢者を対象に毎月1回、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

<会食交流事業実施状況>

開催回数	10回 (±0回)
登録者数	101人 (+9人)
延参加者数	388人 (+23人)

※()内は前年度対比

<会食交流事業実施状況>

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月	49人	十和田市	手づくり村理艸郷
6月	40人	秋田県小坂町	康楽館 常打歌舞伎鑑賞
7月	49人	八戸市	観光遊覧船シャーク号乗船、八食センター
8月	31人	東北町	東北温泉、上北農産加工工場見学
9月	39人	青森市	浅虫水族館イルカショー
10月	39人	八戸市	葦毛崎展望台、ラピア
11月	39人	十和田湖	十和田湖観光遊覧船乗船
12月	43人	おいらせ町	アグリノ里おいらせ
1月	12人	田子町	田子幼稚園おしるこ会
2月	47人	八戸市	泉清水いちご観光農園イチゴ狩り
合計	388人		

(5)高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障がい等のため居宅において生活することに不安のある方に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

<高齢者生活福祉センター利用状況>

申請者数	13世帯 (-1世帯)
実利用世帯	10世帯 (-2世帯)
・単身	10世帯 (-2世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	55世帯 55人 (+1世帯 +1人)

※()内は前年度対比

<高齢者生活福祉センター月別利用状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	9	4	2	1	1	1	0	1	9	9	9	9	10人
延利用日数	234	116	60	31	31	2	0	1	271	279	252	272	1,549日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6) 低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行い世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

<年度末貸付総件数>

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	8件	1,381,129円	1,090,349円
更生資金	1件	700,000円	217,000円
福祉資金	1件	2,050,000円	924,980円
計	10件	4,131,129円	2,232,329円

※H31.3.31 現在償還中を含む

<生活福祉資金貸付調査委員会>

日時	平成31年3月13日(水) 午後2時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	生活福祉資金貸付及び償還状況について 生活福祉資金貸付調査委員の選任について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活が送れるように援助しました。しかし、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

<たすけあい資金新規貸付状況>

資金の種類	件数	金額
生活資金	5件	150,000円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

<相談支援の状況>

支援調整会議	1 回
進捗状況報告会	12 回

エ. フードバンク事業

青森県社会福祉協議会が実施するフードバンクシステムにより食品等は無償で譲り受け、また、個人や団体等から寄付された食品を自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

<提供状況>

提供者数	3 名(-2 名)
提供回数	7 回(-7 回)

※()内は前年度対比

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を 2 人配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。

また、老人福祉センターの利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修会の支援を行い高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

<老人福祉センター利用状況>

開所日数	266 日 (+20 日)
延利用者数	9,923 人 (-414 人)
平均利用者数/日	37.3 人 (-1.3 人)

※()内は前年度対比

(8) 在宅介護者の支援

在宅で高齢者や障害者の介護をされている方々が同じ立場の方々とお互いの体験や悩みなどを話し合ったりしながら心身のリフレッシュを図るために、ケアマネジャーや各施設の協力のもと日帰り旅行を行いました。

日時	平成 31 年 2 月 26 日(火) 午前 9 時 45 分
場所	八戸市「グランドサンピア八戸」
参加者	5 人(介護者 3 人 ケアマネジャー・事務局)

(9) ほっとできる居場所づくり事業(障害者福祉事業)

青森県共同募金会からの配分金を活用し、田子町老人福祉センターを拠点として、誰もが住み慣れた地域でほっとできる居場所づくりを目的に交流会を実施しました。主に田子町手をつなぐ育成会会員を中心に、地域の高齢者、田子町身体障害者福祉会会員、森の菜園・たっこや陽だまりの家等の障害者施設の方々が交流を通しお互いの理解を深めました。

○第1回交流会「うどんづくり教室」

日時	平成30年5月26日(土) 午前9時20分
場所	田子町老人福祉センター 厨房
内容	うどん作り 講師 中村ミチ氏、大坊とき氏
参加者	9名

○第2回交流会「田子町手をつなぐ育成会懇談会」

日時	平成30年7月21日(土) 午後6時
場所	池田ファーム
内容	森の菜園・たっこ施設長との懇談 講師 森の菜園・たっこ 施設長 中村見俊氏
参加者	9名

○第3回交流会「おりがみ交流会」

日時	平成30年10月13日(土) 午前10時
場所	田子町老人福祉センター 和室
内容	田子町手をつなぐ育成会 PR 活動
参加者	10名

○第4回交流会「先輩お母さんのお話を聴く会」

日時	平成31年1月12日(土) 午前10時
場所	田子町老人福祉センター 和室
内容	子どもの将来についてのお話 講師 NPO 法人陽だまりの家 中平美賀子氏、日向ナツ子氏
参加者	10名

○第5回交流会「田子町身体障害者福祉会新年会」

日時	平成31年1月16日(水) 午前11時
場所	田子町老人福祉センター 和室
内容	田子町身体障害者福祉会新年会及び交流会
参加者	17名

○第6回交流会「おいしい手づくりクッキー教室」

日時	平成31年1月26日(土) 午前9時50分
場所	田子町老人福祉センター 厨房
内容	手づくりクッキー教室 講師 カフェ・デ・ソカロ 佐野友美氏
参加者	17名

○第7回交流会「美味しい天ぷらうどん教室」

日時	平成31年2月9日(土) 午前9時50分
場所	田子町老人福祉センター 調理室
内容	天ぷらとうどん作り 講師 あおい 青木弘氏
参加者	10名

(10) 相談援助技術実習(社会福祉士)の受入れ

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を受け入れ、現場実習を通してソーシャルワーカーとして必要な知識や技術を習得できるよう努めました。

○東北福祉大学 通信教育部課程(社会人) 1人

平成30年6月18日～平成30年7月20日(合計24日間 192時間)

(11) あっぶるハート(日常生活自立支援事業)の支援・協力

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協である八戸市社会福祉協議会との連携により、利用者との契約に基づいた福祉サービスの利用援助の支援・協力をしました。ケアマネジャーや保健師からの相談件数が増加していることから、今後も契約件数の増加が想定されます。

相談件数	5件(+4件)
契約件数	2件(+2件)
支援回数	16回(+11回)※
支援員	1名(±0名)

※事前訪問、相談訪問含む

4. 福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

(1) ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター(機能)を構築していく必要があります。

<ボランティア登録状況>

社協事業登録ボランティア	個人 284人 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
デイサービスボランティア	個人 1人 (±0人)
配食サービスボランティア	個人 1人 (±0人)
寄りあいっこボランティア	個人 3人 (+2人)
その他のボランティア	1団体 27人 (±0団体 +1人)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各学校(小学校3校、中学校1校、高校1校)を福祉協力校として指定し、活動費として1校当たり5万円を助成し福祉活動の支援を行ったほか、ボランティア協力校の連絡会議を開催し各学校との連絡調整と活動の支援を行いました。

<福祉協力校連絡会議>

日時	平成30年5月21日(月) 午後3時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	福祉教育メニューについての協議・意見交換

＜福祉協力校活動支援内容＞

平成 30 年 12 月 12 日	上郷小学校	全校児童を対象に車椅子体験教室を実施
平成 30 年 12 月 19 日	上郷小学校	全校児童を対象に盲導犬を理解する授業を実施

(3)啓発宣伝事業

ア. 社会福祉大会の開催

町民の福祉意識の高揚と、地域福祉の推進を図るために、第 52 回田子町社会福祉大会を開催しました。午前は、生前整理を通して見た地域における見守りの必要性についての講演会を実施し、午後には社会福祉へ貢献された方を表彰する式典を執り行いました。また、恒例となった学童保育児童による参加者全員へのプレゼント作りやチャリティーバザー、地域住民(サロン活動)による作品展示販売、社協関係者、民生委員児童委員、各種団体及び一般町民など多くの方の参加、協力を得て実施しました。

＜第 52 回田子町社会福祉大会＞

日 時	平成 30 年 11 月 21 日(水) 午前 10 時 25 分
場 所	田子町中央公民館
内 容	・大会式典(受賞者 16 名 3 団体) ・講演 トータルプロデュース モコ 代表責任者 花輪隆俊 氏 ・演題 「安心して長生きするためのひと工夫『生前整理』の大切さ、生前整理はものだけじゃない!!」 ・福祉施設作品展示販売・サロン作品展示販売・チャリティーバザーなど
大会参加者	約 170 人(社協関係者・民生委員児童委員・各種団体・一般町民)

イ. 広報活動

「社協だより」を 4 回(1 回 2,200 部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

また、ホームページを開設し、新たな層に対し社協の事業やイベント等様々な情報を発信しました。

(4)高齢者世帯等奉仕活動事業

消防署・警察署・東北電力・防犯協会を協力機関とする「田子町高齢者世帯防火・防犯奉仕活動協議会」により、高齢者世帯等を訪問し、安否確認や防犯指導、さらに電気設備・防火面での点検と簡単な修繕を行い対象世帯が安全で安心な生活ができるよう努めました。

日 時	平成 30 年 12 月 14 日(金) 午後 1 時
対象世帯	単身又は高齢者、障害者のみの世帯 6 世帯
参加者	12 人 (田子消防署 2 人、田子駐在所 2 人、東北電力 4 人、田子町防犯協会 1 人、田子町社会福祉協議会 3 人)

(5)福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(52 人)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また、本会事業に対する理解を深めるため、福祉協力員とほのぼの協力員を対象に研修会を開催しました。

＜福祉協力員研修会(ほのぼの協力員・福祉協力員合同研修会)＞

日 時	平成 30 年 6 月 18 日(月) 午後 1 時 30 分
場 所	田子町中央公民館 ホール
研修内容	第一部 ほのぼのコミュニティ 21 推進事業について ほのぼの協力員の役割について 第二部 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 赤い羽根共同募金活動について 社協の事業について

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

また、青森県共同募金会の主催により、プロスポーツ選手との交流から「夢を持つことの大切さ」や「仲間を大切に作る心」を学び、児童生徒の心の成長を目的とした福祉教育も実施しました。

＜赤い羽根共同募金実績＞

赤い羽根共同募金総額	1,315,416 円
個別募金(1,808 世帯)	1,226,406 円
職域募金(23 件)	44,413 円
イベント募金 2 回(町福祉大会・にんにくとべごまつり)	22,978 円
学校募金(5 校)	12,813 円
役場窓口募金	7,792 円
マエダ×赤い羽根	1,014 円

＜プロスポーツ選手との交流を通じた福祉教育＞

○第 1 回

日 時	平成 30 年 7 月 19 日(木) 午前 10 時 30 分
場 所	上郷小学校
チーム名 及び選手	青森ワッツ(ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールチーム 2 部) 野里惇貴選手、船山裕士選手
参加児童	上郷小学校全校児童 20 名

○第 2 回

日 時	平成 31 年 1 月 10 日(木) 午後 1 時
場 所	農業者トレーニングセンター
チーム名 及び選手	ヴァンラーレ八戸(日本プロサッカーリーグ 3 部) 金井隆太選手
参加児童	学童保育利用児童 37 名

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1) 田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」を、委託事業として「すくすく館田子分館」・「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の学童保育事業に取り組みました。

町内の小学校に通う児童で、保護者が就労等により昼間家にいない児童を対象として、平日の放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業期間に保護者と児童が安心して利用できる「遊び」と「生活」の場を提供し、子どもの健全育成を図るため、保護者会(すくすく倶楽部)と相互に協力して事業を実施しました。

今年度も指導員の確保と定着が難しい状況にありましたが、「児童の安全」と「安心して居ることができる場所づくり」を心がけて、日常の遊びなどのほか、毎月の誕生会、バス遠足や季節の行事などを通して自主性、社会性、創造性を培いながら児童の健全育成に努めました。

また、引き続き清水頭小学校の学童利用児童の平日の送迎(1・2年生のみ学童への送り)を行い、学童保育利用における地域格差の解消に努めました。

さらに、上郷分館では、上郷公民館や周辺のゴミ拾いを通し、ふるさとへの思いの醸成や地域貢献の経験を積めるよう努めました。

<学童保育実施状況>

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

<開設日数・登録児童数>

施設名	年間開設日数					登録児童数				備考
	平日	土曜	振替休業	長期休業	計	区分	年度当初	年間増減	年度末	
本館	192	39	10	45	286	通常	55	-4	51	増4 減8
						長期	2	-1	1	増0 減1
						一時	0	1	1	増1 減0
						計	57	-4	53	増5 減9
田子分館	194	39	8	45	286	通常	21	-2	19	増0 減2
						長期	2	0	2	増0 減0
						一時	0	2	2	増2 減0
						計	23	0	23	増2 減2
上郷分館	190	39	11	46	286	通常	17	0	17	増0 減0
						長期	0	0	0	増0 減0
						一時	0	0	0	増0 減0
						計	17	0	17	増0 減0
計	576	117	29	136	858	通常	93	-6	87	増4 減10
						長期	4	-1	3	増0 減1
						一時	0	3	3	増3 減0
						計	97	-4	93	増7 減11

＜月別開設日数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	24	23	26	25	23	23	24	24	23	23	23	25	286
田子分館	24	23	26	25	23	23	24	24	23	23	23	25	286
上郷分館	24	23	26	25	22	23	25	24	23	23	23	25	286
計	72	69	78	75	68	69	73	72	69	69	69	75	858

＜延利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	877	967	1,029	961	816	853	928	911	855	813	833	834	10,677
田子分館	217	236	235	253	239	196	214	205	211	206	215	210	2,637
上郷分館	328	315	325	352	301	280	329	279	285	279	299	338	3,710
計	1,422	1,518	1,589	1,566	1,356	1,329	1,471	1,395	1,351	1,298	1,347	1,382	17,024

＜一日当たりの利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	36.5	42.0	39.6	38.4	35.5	37.1	38.7	38.0	37.2	35.3	36.2	33.4	37.3
田子分館	9.0	10.3	9.0	10.1	10.4	8.5	8.9	8.5	9.2	9.0	9.3	8.4	9.2
上郷分館	13.7	13.7	12.5	14.1	13.7	12.2	13.2	11.6	12.4	12.1	13.0	13.5	13.0
計	55.3	66.0	61.1	62.6	59.7	57.8	60.5	58.1	58.7	56.4	58.6	55.3	59.5

＜延支援員配置数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	103	104	111	105	101	97	100	110	113	107	103	105	1,259
田子分館	49	57	59	69	61	46	47	50	48	50	44	52	632
上郷分館	53	47	54	59	69	50	56	49	53	51	48	57	646
計	205	208	224	233	231	193	203	209	214	208	195	214	2,537

＜一日当たりの支援員配置状況＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	4.3	4.5	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.6	4.9	4.7	4.5	4.2	4.4
田子分館	2.0	2.5	2.3	2.8	2.7	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	1.9	2.1	2.2
上郷分館	2.2	2.0	2.1	2.4	3.1	2.2	2.2	2.0	2.3	2.2	2.1	2.3	2.3
計	8.5	9.0	8.6	9.3	10.2	8.4	8.4	8.7	9.3	9.0	8.5	8.6	8.9

(2) 子育てサロンの実施

学童保育施設「すくすく館」を週2回開放し、子育て中の保護者や乳幼児、子育てに関わっている方などを対象に、「気軽に出かけてほっとできる場所」を提供し、子育て支援の一環として、子育てサロンを実施しました。

一日当たりの利用世帯数は1.8世帯でしたが、親子で出かける場所があること、ゆっくりとした時間を過ごせてリフレッシュできることが事業の大きな役割となっているほか、親同士の繋がりができるなどの成果が見られました。また、町の保健師の協力のもとに、年間3回の相談日を設けることで気軽に相談できる体制の整備にも努めました。

一方、サロンの日数を増やしたり、時間を延長してほしいといった声も上がっており、より利用しやすいサロンの実施が求められています。また、現在登録している親子の多くが育児休業明けには保育施設に子どもを預け仕事に復帰する予定になっており、引き続き町の乳児健診や広報、ケーブルテレビやホームページなどを活用し、広く周知を図り多くの親子が利用できるように努めます。

＜子育てサロン実施状況＞

開催日時	毎週火・木曜日 10:00～12:00
開催場所	すくすく館
実施日数	72日
登録世帯数	12世帯(親12人 子ども13人)
延利用世帯数	129世帯 284人
1日平均利用世帯数	1.8世帯 3.9人

＜子育てサロン実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用世帯	-	2	4	3	2	4	7	7	5	6	5	4	-
実施日数	-	7	8	6	2	8	8	8	6	6	8	5	72日
利用世帯数	-	6	7	5	2	15	26	24	15	10	11	8	129世帯
1日当たりの利用世帯数	-	0.9	0.9	0.8	1.0	1.9	3.3	3.0	2.3	1.7	1.4	1.6	1.8世帯
延利用者数	-	12	14	10	4	30	54	57	35	25	24	19	284人
(うち子供の数)	-	6	7	5	2	15	28	32	20	15	13	11	154人
1日当たりの利用者数	-	1.7	1.8	1.7	2.0	3.8	6.8	7.1	5.6	4.2	3.0	3.8	3.9人

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会